

勉誠出版

日本近代文学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: 16ce04a076
(期限: ~2021年7月31日)

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 16ce04a076 (期限: ~2021年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本近代文学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



勉誠出版 注文書

ご送付先(氏名・住所・電話番号)

Email info@bensei.jp FAX 03-5215-9025

※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。
※弊社ホームページのホーム画面上部のバナー「研究書 新刊・近刊のご案内」、
もしくはお知らせ欄「研究書 新刊・近刊のご案内」より、注文書(PDFかエクセル)をダウンロードしてご記入のうえ、メールかFAXにて、お送りください。
※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。

通信欄 ※お支払い方法(公費・私費)、必要書類はこちらにご記入ください

※ISBNは978-4-585と末尾のチェックデジットを省略しています。

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	冊数
◆近刊(ご予約受付中!)						
首里城を解く—文化財継承のための礎を築く(仮)	高良倉吉 監修/島村幸一 編	2021/5	32001	3,800	4,180	
書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/6	30002	16,000	17,600	
中世寺院の仏法と社会	永村真 編	2021/5	31001	12,000	13,200	
創られた由緒—近世大和国諸社と在地神道家	向村九音 著	2021/6	31002	予価8,000	予価8,800	
古文書研究 第91号	日本古文書学会 編	2021/6	32401	3,800	4,180	
もう一度読みたい古典文学(仮)	三宅晶子 編	2021/6	39001	予価2,400	予価2,640	
中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修/池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/夏	29612	6,000	6,600	
坂口安吾大事典(仮)	安藤 茂・十重田裕一・大原祐治 編集代表	2021/夏	20079	15,000	16,500	
◆事典・総記						
江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司 編	2021/3	20080	12,000	13,200	
文化情報学事典	村上征勝 監修/金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000	19,800	
◆歴史・文化財・美術史・思想史						
古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/1	22277	3,000	3,300	
増補改訂新版 日本中世史入門—論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/2	22280	3,800	4,180	
古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編 国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	22272	7,800	8,580	
日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	20073	7,000	7,700	
古文書研究 第90号	日本古文書学会 編	2020/12	22417	3,800	4,180	
渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民 編	2021/2	22289	14,000	15,400	
古代の日本と東アジア 人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/7	22279	10,000	11,000	
新羅中古期の史的研究	武田幸男 著	2020/7	22278	12,000	13,200	
大嘗祭—隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/1	21057	3,800	4,180	
中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/2	22300	9,500	10,450	
戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/2	22301	9,000	9,900	
金沢文庫古文書 喫茶関係年資料集	永井晋 編	2020/9	22288	10,000	11,000	
鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/2	22297	3,800	4,180	
中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明 著	2020/12	20077	15,000	16,500	
歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	22257	10,000	11,000	
近世大名墓の考古学—東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/6	22276	12,000	13,200	
儒教儀礼と近世日本社会—閩齋学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/7	21056	10,000	11,000	
勤番武士の江戸滞在記—国枝外右馬江戶詰中日記	岩淵令治 編	2021/5	32000	10,000	11,000	
生きるための地域史—東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編	2020/10	22290	8,000	8,800	
日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	22266	6,000	6,600	
近世豪商・豪農の(家)経営と書物受容—北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	22265	10,000	11,000	
近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一/マシュー・デーヴィス 編	2020/2	22267	7,000	7,700	
江戸日本橋商人の記録—(にんべん)伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	22269	11,000	12,100	
麴「豊後切支丹史料」—バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	22261	12,000	13,200	
琉球船漂着者の「聞書」世界—『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	29197	10,000	11,000	
新彰義隊戦史	大藏八郎 編	2020/9	22285	7,000	7,700	
明治の一発屋芸人たち—珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/1	27058	3,500	3,850	
アーネスト・サトウと蔵書の行方—『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山勝 著	2020/11	20078	4,200	4,620	
土地の記憶から読み解く早稲田—江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著/大内紀彦、フィリップ・ドルネッティ 訳	2021/3	22299	2,700	2,970	
ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修/牧野元紀 編	2020/8	22286	3,800	4,180	
スイス使節団が見た幕末の日本—ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会 編	2020/6	22275	9,800	10,780	
日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	22268	17,000	18,700	
日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	27055	6,500	7,150	
パブリック・ヒストリー入門—開かれた歴史学への挑戦【オンデマンド新版】	菅豊・北條勝貴 編	2021/5	82254	4,800	5,280	
新装版 唐物と東アジア—舶載品をめぐる文化交流史	河添房江・皆川雅樹 編	2021/4 二刷 (2016/2初版)	22140	2,000	2,200	
親相の文化史	相田満 著	2021/2	29203	9,000	9,900	
改訂新版 中国学入門—中国古典を学ぶための13章【オンデマンド版】	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2021/4	80056	1,600	1,760	
宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/6	22069	4,500	4,950	
描かれたマカオ—ダーウセント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編	2020/4	22262	22,000	24,200	
上海におけるプロテスタント—現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保 著	2020/5	21055	6,000	6,600	
ラジオの技術・産業の百年史—大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸 著	2021/3二刷 (2020/12初版)	22295	5,400	5,940	
絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/1	24014	3,200	3,520	
パリ・ノートル＝ダム大聖堂の伝統と再生—歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/3	31000	8,000	8,800	
メソアメリカ文明セミナー	伊藤伸幸 監修/嘉幡茂・村上達也 編	2021/1	22296	5,000	5,500	
現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子 編	2020/9	22513	6,000	6,600	
現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ 3 ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史 編	2020/9	22514	6,000	6,600	
「本読み」の民俗誌 交又する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	23081	3,500	3,850	
メディアのなかの仏教—近現代の仏教的人間像	森覚 編	2020/5	21054	7,500	8,250	
渋谷敬三とアチック・ミュージアム—知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	22263	3,500	3,850	
荒れ野の六十年—東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	22264	3,200	3,520	
◆古典文学・文学史						
物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/3	39000	12,000	13,200	
中世和歌論—歌学と表現と歌人	中川博夫 著	2020/11	29199	12,000	13,200	
和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/1	29202	15,000	16,500	
真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/2	29204	9,000	9,900	
中国古典文学に描かれた劇・井戸・簀—民俗学的視点に基づく考察	山崎藍 著	2020/11	29200	9,000	9,900	
韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/2	29201	11,000	12,100	
挑発する軍記	大津雄一 著	2020/10	22292	3,800	4,180	

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	冊数
江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智慧	長友千代治 著	2020/10	20076	6,000	6,800	
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	20072	12,000	13,200	
水門—言葉と歴史 第二十九号	水門の会 編	2020/1	22443	3,500	3,850	
本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	2020/2	29224	3,200	3,520	
仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合 全注釈	石川一 編	2020/3	29195	10,000	11,000	
南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾 著	2020/3	22270	7,000	7,700	
幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	29196	10,000	11,000	
明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	29193	7,500	8,250	
杜甫研究年報 第三号	日本杜甫学会 編	2020/5	29443	2,000	2,200	
杜甫研究年報 第四号	日本杜甫学会 編	2021/4	39444	2,000	2,200	
お伽草子超入門	伊藤慎吾 編	2020/7	29188	2,800	3,080	
白居易研究年報 最終号・第20号 特集 歌舞音曲—附 日本国内白居易研究文献解説目録	白居易研究会 編	2020/9	07098	9,000	9,900	
吉田松陰と学人たち	徳田武 著	2020/9	22291	10,000	11,000	
漱石文体見本帳	北川扶生子 著	2020/12	9189	2,800	3,080	
ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京	日本近代文学館 編	2020/4	29163	2,800	3,080	
【鉄幹晶子全集40】鉄幹晶子全集 別巻8—拾遺篇 書誌・年譜	逸見久美ほか 編	2021/5	01093	9,000	9,900	
同性愛文学の系譜—日本近現代文学におけるLGBT以前／以後	伊藤氏貴 著	2020/2	29191	2,800	3,080	
平川祐弘決定版著作集 ダンテ『神曲』講義	平川祐弘 著	2020/2	29422	10,000	11,000	
平川祐弘決定版著作集 西洋人の神道観—日本人のアイデンティティを求めて	平川祐弘 著	2020/3	29416	8,000	8,800	
平川祐弘決定版著作集 東の自生観と西の創造観	平川祐弘 著	2020/3	294281	4,000	4,400	
平川祐弘決定版著作集 開国の作法	平川祐弘 著	2020/4	294291	4,000	4,400	
平川祐弘決定版著作集 アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳者	平川祐弘 著	2020/7	29424	14,000	15,400	
アメリカ現代詩入門—エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉 著	2020/2	29192	3,500	3,850	
100人の作家で知る ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉 著	2020/3	29194	2,800	3,080	
◆日本語学・言語学						
ベトナム語空間ダイクシスとその展開—指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓 著	2021/5	38001	10,000	11,000	
日本語学論の挑戦—表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡崎裕剛 編	2021/3	38000	7,000	7,700	
コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/2	28052	8,500	9,350	
日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	2020/3	28048	14,000	15,400	
龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000	19,800	
近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	2020/1	28047	8,000	8,800	
論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	2020/3	28521	15,000	16,500	
サハ語文法—統語的派生と言語類型論の特異性	江畑冬生 著	2020/4	28049	9,800	10,780	
続 岐点の軌跡 老いてなお岐点あり—老いてなお岐点あり	北原保雄 著	2020/4	28503	4,500	4,950	
◆図書館学・アーカイブ						
大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/5	30001	3,500	3,850	
日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/3	20074	3,500	3,850	
ささえあう図書館—「社会装置」としての新たなモデルと役割【オンデマンド版】	青柳英治 編著／岡本真 監修	2021/3	90039	1,800	1,980	
【デジタルアーカイブ・ベーシック3】自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村寛 責任編集	2020/4	20283	2,500	2,750	
【デジタルアーカイブ・ベーシック4】アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284	2,500	2,750	
【デジタルアーカイブ・ベーシック5】新しい産業創造へ	時実家一 監修／久永一郎 責任編集	2021/5	20285	2,500	2,750	
【ライブラリーぶっくす】司書のお仕事2 本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小曾川真貴 監修	2020/10	20075	1,800	1,980	
【ライブラリーぶっくす】変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟 著	2021/4	20081	2,200	2,420	
◆統計学						
この本を書いたのは誰だ？—統計で探る“文章の指紋”	村上征勝 著	2020/4	29198	1,800	1,980	
R・Pythonによる 統計データ科学	杉山高一・藤越康祝 監修	2020/2	24011	2,700	2,970	
◆アジア遊学						
242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	22708	2,800	3,080	
243 中央アジアの歴史と現在—草原の叢書	松原正毅 編	2020/3	22709	2,400	2,640	
244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	22710	3,200	3,520	
245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	22711	2,800	3,080	
246 和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	22712	2,800	3,080	
247 移動するメディアとプロパガンダ—日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	22713	2,800	3,080	
248 明治が歴史になったとき 史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	22714	2,800	3,080	
249 漢学とは何か 漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城 編	2020/7	22715	2,800	3,080	
250 酔いの文化史 儀礼から病まで	伊藤信博 編	2020/8	22716	2,800	3,080	
251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編	2020/9	22717	2,800	3,080	
252 中世日本の茶と文化 生産・流通・消費をとらえて	永井晋 編	2020/9	22718	2,800	3,080	
253 ポストコロナ時代の東アジア 新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平 編	2020/9	22719	2,800	3,080	
254 東アジアの歌と文字	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編	2021/2	32500	2,800	3,080	
255 東アジアにおける知の往還	国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/3	32501	2,800	3,080	
◆書物学						
第18巻 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	20718	1,800	1,980	

江戸川乱歩

ENCYCLOPEDIA OF
RAMPO EDOGAWA

大事典

稀代の推理小説作家、江戸川乱歩。

死後五十年を経て、未だ我々を魅了し続ける乱歩の創作・思考の背景にあるものはいったい何か。乱歩の形成した人的ネットワーク、そして彼の生きた戦前戦後という時代と文化事象、出版文化の展開とともに花開いた様々な雑誌メディアなど、総勢七十人に及ぶ豪華執筆陣のナビゲートにより

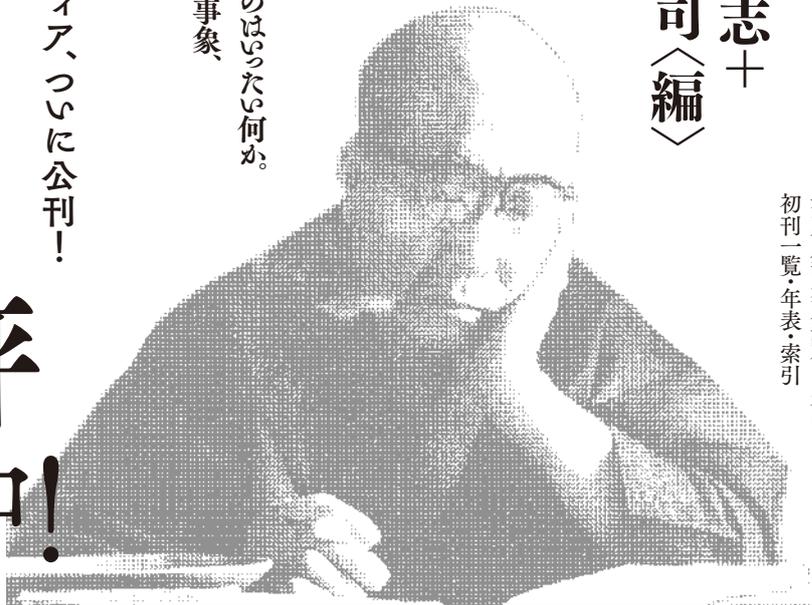
乱歩ワールドの広がりを感じていただける本邦初のエンサイクロペディア、ついに公開！

落合教幸＋阪本博志＋
藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉

定価 13,200円(税込)
菊判上製・912頁
2021年3月、
堂々刊行！
ISBN978-4-585-20080-2 C1000

目次

- 〔第一部〕人間乱歩
- 〔第二部〕社会
- 〔第三部〕ミステリー
- 〔第四部〕メディア
- 〔付録〕江戸川乱歩小説作品初出初刊一覧・年表・索引



週刊読書人

4/9発売号に、

刊行記念記事掲載！

有栖川有栖氏、

佐野史郎氏、

ご寄稿！

大好評 発売中！

書名	江戸川乱歩大事典	部数	
著者	落合教幸＋阪本博志＋藤井淑禎＋渡辺憲司(編)	定価	13,200円(税込)
		定価	12,000円(＋税)
		菊判・上製カバー装	912頁
		2021年3月刊行	
		ISBN978-4-585-20080-2	C1000
ご送付先ご住所(通信欄)			

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

全40巻、
遂に完結!

鉄幹晶子全集 別巻8

逸見久美ほか【編】

拾遺篇

書誌・年譜

与謝野寛と晶子が生前発表したすべての単行本を、
編年体で刊行した、初の夫婦全集

「鉄幹晶子全集 全32巻」(本文篇31巻+全歌集五句索引篇)。

その完結のち、

短歌、詩(漢詩を含む)、小説、評論、随想、童話、古典翻訳など、

単行本未収録作品から、没後発見の貴重な資料までを網羅した、

「鉄幹晶子全集 別巻 全8巻」を刊行。

最終巻となる「別巻8 拾遺篇—書誌・年譜」では、
明治17年〜昭和17年の与謝野寛・晶子の著作を編年体で配列。
与謝野寛・晶子の年譜も収録。

編者プロフィール

逸見久美(いつみくみ)

一九二六年、翁久允の娘として兵庫県に生まれる。

早稲田大学文学部国文科卒、実践女子大学大学院国文科博士課程満期退学。

文学博士。女子聖学院短期大学教授、徳島文理大学教授、聖徳大学教授を歴任。

『評伝与謝野鉄幹晶子』『みだれ髪全集』『むらさき全集』『回想与謝野寛晶子研究』ほか多くの編著書がある。

定価九、九〇〇円(税込)・本体九、〇〇〇円

A5判上製カバー装・三六八頁

二〇二一年五月刊行

ISBN978-4-585-01093-7 C0392

各巻の構成【全八巻】

1〜8巻各定価九、九〇〇円(税込)・本体九、〇〇〇円

A5判上製カバー装

別巻1…拾遺篇—詩

ISBN978-4-585-01086-9

鉄幹の漢詩から晶子の散文詩(英文)まで、
単行本未収録の詩作品を掲載。

ふたりの作品を完全な発表順で配列した。

主な収録作品は寛の「海内詩集(漢詩)」

「爆弾三勇士」、晶子の「防空演習の夜」など。

別巻2…拾遺篇—明治期短歌

ISBN978-4-585-01087-6

別巻3…拾遺篇—大正期短歌上

ISBN978-4-585-01088-3

別巻4…拾遺篇—大正期短歌下

ISBN978-4-585-01089-0

別巻5…拾遺篇—昭和期短歌上

ISBN978-4-585-01090-6

別巻6…拾遺篇—昭和期短歌中

ISBN978-4-585-01091-3

別巻7…拾遺篇—昭和期短歌下

ISBN978-4-585-01092-0

ふたりが発表した膨大な短歌のうち、
各紙誌に発表された、
単行本に収められなかったものを網羅。

別巻8…年譜・書誌

書名	部数
鉄幹晶子全集 別巻8 拾遺篇—書誌・年譜 逸見久美ほか【編】	部
鉄幹晶子全集 別巻 第()巻	部
鉄幹晶子全集 全32巻	セット
鉄幹晶子全集 第()巻	部

ご送付先ご住所(通信欄)

パンフレットを希望します。

注
文
書

好
評
既
刊

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

おおよそいうち

大宅壮一文庫解体新書

雑誌図書館の全貌とその研究活用

阪本博志〔編〕

大宅壮一文庫、開設50周年！ 文庫の全てに迫る！

大宅壮一が収集した膨大な雑誌のコレクションを
基礎として設立された大宅壮一文庫。

二〇二二年、開設から五〇年を迎える大宅壮一文庫について、
概要から、その誕生の歴史、そして文庫を活用した
研究の実践例まで、すべてを網羅した解説書。

＊大宅壮一（一九〇〇―一九七〇）とは：

日本のジャーナリスト、ノンフィクション作家、評論家。時代の風潮を
見事に裁断する独特な社会評論や人物評論で、長くマスコミ界で
活躍。明快な是非論で広く一般大衆の支持を得た。また、「一億
総白痴化」、「恐妻」、「ロコミ」など、多数の造語を生んだ。

本書の特色

①「雑誌の図書館」大宅壮一文庫の概要、歴史、利用方法などを、詳細に解説。

②実際に大宅壮一文庫を活用している執筆者陣が、文庫を利用することでどういったことが見えてくるかをまとめた論考を収録。

編者プロフィール

阪本博志（さかもと・ひろし）

帝京大学文学部社会学科教授。専門は社会学・メディア史・出版文化論。主な著書に『平凡』の時代―一九五〇年代の大衆娯楽雑誌と若者たち（昭和堂、二〇〇八年）、第30回日本出版学会賞奨励賞・第18回橋本峰雄賞、『江戸川乱歩大事件（落合教幸・藤井淑慎・渡辺憲司との共編）勉誠出版（二〇二二年）などがある。

定価 三、八五〇円（税込）・本体 三、五〇〇円

A5並製カバー装・三〇〇頁

二〇二二年五月刊行

ISBN978-4-585-30001-4 C1000

目次

第一章

索引的思考

カラー口絵／はじめに◎大宅映子／本書の構成◎阪本博志
（無思想人）大宅壮一における知の技法◎有馬学
コラム① ノンパン喫茶と大宅文庫
――週刊誌がおしえてくれること、くれないこと◎井上章一

第二章

大宅壮一と大宅壮一文庫◎阪本博志

①大宅壮一文庫の誕生②大宅壮一文庫の発展③大宅壮一文庫のこれから
コラム② 大宅文庫について思うこと◎三鬼浩子

第三章

雑誌の図書館 大宅壮一文庫

その所蔵資料と利用方法◎鴨志田浩
①大宅壮一文庫の概要②大宅壮一文庫の迷宮書庫
③大宅壮一文庫の出版物④大宅壮一文庫の索引・検索システム
⑤大宅壮一文庫の資料閲覧と各種サービス
コラム③ 長持としての大宅文庫◎永井良和

第四章

大宅壮一文庫の活用(1) 横断的研究

雑誌アーカイブ大宅壮一文庫――その現在と未来◎前島志保
二世紀における大宅文庫の可能性◎鳥羽耕史
受験・教育雑誌と文学――大宅壮一文庫所蔵誌をきっかけとして◎大原祐治
出版社系週刊誌の誕生――週刊新潮と文学との関わりを中心に◎加藤邦彦
コラム④ 「心の時代」をもう一度可視化するか◎牧野智和

第五章

大宅壮一文庫の活用(2) テーマ研究

大宅壮一文庫雑誌記事索引にみる性風俗の歴史
――トルコ風呂の元祖「泉温泉」を例に◎光石亜由美
寄せ場の表裏――大衆雑誌にみる高度経済成長期の「山合」◎石川巧
話を書き残す――漫才作者秋田実と雑誌◎後藤美緒
間テクスト的存在としての「スケパン」◎難波功十
コラム⑤ 書物のない場所――戦後文学に描かれた「書物」◎多田蔵人
あとがき◎阪本博志



書名	部数
<p>おおよそいうち 大宅壮一文庫解体新書 雑誌図書館の全貌とその研究活用 阪本博志〔編〕</p>	<p>定価 3,850円（税込）・本体3,500円 A5判並製カバー装・300頁 ISBN 978-4-585-30001-4・C1000 2021年5月刊行</p>
ご送付先ご住所（通信欄）	

藤本幸夫

〔編〕

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞、恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡（鑑）研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐる 本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

定価一七、六〇〇円（税込）

（本体一六、〇〇〇円）

B5判上製カバー装・八九六頁

二〇二一年六月刊行

ISBN978-4-585-30002-1 C3000

執筆者一覽

- 第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤至子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部：住吉朋彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書名	部数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	定価17,600円・本体16,000円 B5判上製カバー装・896頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-30002-1 C3000
藤本幸夫 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

〈詳細目次〉

序文……………藤本幸夫

●第一部——書物のかたち・書物のジャンル

- 佐々木孝浩……………〈古写本〉日本の写本——装訂を中心として
- 柏崎順子……………〈江戸版〉初期出版界の様相
- 木村八重子……………〈草双紙〉「草双紙」の史的展望
- 棚橋正博……………〈黄表紙〉黄表紙
- 佐藤至子……………〈合巻〉合巻における自主規制
——「三国太郎再来伝」から「現世扶桑太郎」へ
- 鈴木圭一……………〈中本（人情本）〉中本二編三冊意識
- 石上阿希……………〈春画・艶本〉「書籍目録」にみる枕絵と好色本
- 大久保純一……………〈錦絵〉錦絵とは
- 湯浅淑子……………〈おもちゃ絵〉江戸のおもちゃ絵
- 鈴木俊幸……………〈草紙類〉上方の草紙類をめぐる
- 万波寿子……………〈仏書〉日本の仏書
- 鈴木達彦……………〈医書〉日本漢方の特質と日本医書

●第二部——印刷・活字・技術

- 住吉朋彦……………〈宋版・元版〉宋元版研究の道程
- 堀川貴司……………〈五山版〉五山版をどう考えるか
- 長澤孝三……………〈和刻本〉「和刻本」について
- 豊島正之……………〈キリシタン版〉キリシタン文獻
- 林進……………〈古活字版〉角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
- 高木浩明……………〈古活字版〉古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
- 森上修……………〈古活字版〉古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
- 小秋元段……………〈出版史料としての反古〉東北大学附属図書館漱石文庫所蔵古活字版『太平記鈔・音義』表紙の復元的考察
- 渡辺守邦……………〈出版史料としての反古〉表紙裏反古・再考
- 橋口侯之介……………〈彫りと摺り〉彫師摺師から見た日本の出版形態
- 永井一彰……………〈版木〉板木の節

●第三部——本屋・商業出版・蔵書

- 鈴木俊幸……………〈日本近世の本屋〉本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特質
- 塩村耕……………〈日本近世前期の商業出版〉近世前期の出版界と西鶴
- 長友千代治……………〈貸本屋〉貸本屋の横顔
- 岡村敬二……………〈蔵書・蒐書（日本）〉蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
- 大沼晴暉……………〈蔵書・蒐書（日本）〉田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
- 大沼晴暉……………〈日中韓の商業出版〉日中韓坊刻本の比較研究或いは此等二か国書物の比較研究のために
- 大木康……………〈中国の商業出版〉中国書肆史考——近世を中心に
- 大塚秀高……………〈中国の商業出版〉坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
- 金文京……………〈中国の商業出版〉明代建陽の商業出版と通俗小説
- 上原究一……………〈中国の商業出版〉明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
- 高橋智……………〈蔵書・蒐書（中国）〉中国の蔵書家について
- 藤本幸夫……………〈朝鮮の商業出版〉朝鮮坊刻本攷
- 李胤錫……………〈朝鮮の商業出版〉朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
- 全相豆……………〈朝鮮の商業出版〉坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき……………藤本幸夫
執筆者覧

アーネスト・サトウと

蔵書の行方

『増補浮世絵類考』
の来歴をめぐって
プロヴィナンス

小山騰 [著]

その「本」はどこから来て、
どこへ行ったのか——

幕末・明治期、英国の外交官・日本研究者として活躍し、日本の古書収集家として傑出した人物であったアーネスト・サトウ。

そのサトウのコレクションの中に浮世絵の研究、特に謎の浮世絵師「写楽」の考証にとつての重要な資料である『増補浮世絵類考』が含まれていた。

作者の斎藤月岑の死後、サトウの所蔵をへて、ケンブリッジ大学図書館にたどり着くまでの期間、この本はどのような変遷をたどったのか。

写本として受け継がれた『浮世絵類考』の全般にかかわる問題にも言及しつつ、その謎を追う。

「著者プロフィール」

小山騰 (こやまのぼる)

一九四八年愛知県生まれ。成城大学文芸学部卒業。慶應大学大学院修士課程(日本史)修了。ロンドン大学UCLでPG Dip(図書館・情報学)を取得。国会図書館勤務などを経て、一九八五年から二〇一五年までケンブリッジ大学図書館日本部長。

主な編著書に、『日本の刺青と英国王室——明治期から第二次世界大戦まで』(藤原書店、二〇一〇年)、『ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み』(勉誠出版、二〇一七年、第二十回図書館サポーターフォーラム賞受賞)、『戦争と図書館——英国近代日本語コレクションの歴史』(勉誠出版、二〇一八年)などがある。

「目次」

はしがき——本題の「まくら」として、まず剣客と写本の話
序章

第一章 『浮世絵類考』

第二章 『増補浮世絵類考』を入手した事情をさぐる

第三章 アーネスト・サトウの蔵書収集

第四章 サトウの蔵書の行方と蔵書目録

第五章 アンダーソンとサトウ

終章

あとがき／参考文献一覧／人名索引



本体 四、二〇〇円(+税)

四六判上製カバー装・四六四頁
二〇二〇年十一月刊行
ISBN978-4-585-20078-9・C1000

書名	部数
アーネスト・サトウと蔵書の行方 『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって 小山騰 [著]	部
<p>本体 4,200円(+税) 四六判上製カバー装・464頁 ISBN 978-4-585-20078-9・C1000 2020年11月刊行</p>	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

収録写真
100枚超!

日本近代文学館 [編]

ビジュアル資料でたどる

文豪たちの

東京

文豪たちが愛した東京!

夏目漱石、森鷗外、樋口一葉、芥川龍之介、太宰治、泉鏡花…。漫画『文豪ストレイドッグス』にも登場する、日本を代表する文豪たちが生活した場、創作の源泉としての東京を浮かびあがらせる。東京を舞台とした作品の紹介のほか、古写真やイラスト、新聞・雑誌の記事や地図など当時の貴重な資料と、原稿や挿絵、文豪たちの愛用品まで一〇〇枚を超える写真も掲載。現在につながる、文豪たちの生きた東京を探す。都内にある八箇所文学館ガイドも掲載! アクセスマETHOD、代表的な収蔵品など、写真付きで紹介。

都内8箇所
文学館ガイド
掲載!

【編者紹介】
公益財団法人日本近代文学館(にほんきんだいぶんがくかん)日本初の近代文学の総合資料館。専門図書館として資料の収集・保存に努めるとともに、展覧会・講演会等を開催し資料の公開と文芸・文化の普及のために活動する。二〇一九年現在の所蔵資料は図書・雑誌・肉筆資料など二一九万点。

【収録館】一葉記念館/武者小路実篤記念館/田端文士村記念館/瀬田谷文学館/太宰治文学サロン/森鷗外記念館/漱石山房記念館/日本近代文学館

- 【目次】
刊行にあたって…坂上弘
はじめに…東京文学を歩く…池内輝雄
生活を支えた本郷菊坂の質店
—樋口一葉と伊勢屋…山崎一穎
千駄木・団子坂・確執と親和の青春
—森鷗外と高村光太郎・木下左太郎…小林幸夫
漱石作品における「東京」の位置
—「山の手」と「下町」の視点から…中島国彦
女性たちの東京—泉鏡花と永井荷風…持田叙子
近代医学へのまなざし—斎藤茂吉と青山脳病院…小泉博明
作家たちの避暑地—芥川龍之介の軽井沢体験など…池内輝雄
伏字の話から始まって—弾・万太郎・瀧太郎…武藤康史
林美美子の東京
—雌伏期の雑司ヶ谷、道玄坂、白山上南天堂喫茶部…江種満子
遊び、働き、住むところ
—川端康成・佐多稲子たち、それぞれの浅草…宮内淳子



本体二、八〇〇円(十税)
A5判並製カバー装・三二〇頁
二〇二〇年四月刊行
ISBN978-4-585-89163-5 C0095

書名	部数
ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京 日本近代文学館 [編] 【オンデマンド版】	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

本体2,800円(+税)
A5判並製カバー装・320頁
2020年4月刊行
ISBN978-4-585-89163-5 C0095

漱石文体見本帳

北川扶生子 [著]

人間の内面心理を巧みに描いた作家、夏目漱石。漱石と同じ時代を生きた読者たちは、多彩な表現をあやつる「文章家」として彼を愛していた。

日本語の混乱期を漱石はどう泳いだのか？

漱石の小説文体を10に分類。具体的な文例を味わいながら、その効果と背景をわかりやすく紹介。

明治の日本語はこんなに豊かだった！

〔目次〕

- 序章 漱石文体論概説
- ねじふせる、誇張する、こだわる……………漢文調
- ただよう……………美文調
- ボケる……………滑稽文・写生文調
- 訳す……………翻訳文調
- 歩く……………描写
- さらす……………視点
- とどめをさす……………隠喩
- ほどく……………迂言法
- 終章

〔作品例〕

虞美人草、それから、吾輩は猫である、文学論、文学評論、こころ、門、道草、他多数

〔特色〕

- 連載当時のイラストカットを多用した見やすいデザイン。
- 参考図版多数掲載。
- 漱石の文体の魅力に加え、当時の時代背景を理解できる。
- 初心者向けの文学鑑賞に最適。



〔例文(漢文調)〕(『虞美人草』より)

悲劇はついに来た。来きたるべき悲劇はとうから預想していた。預想した悲劇を、なすがままの発展に任せて、隻手をだに下さぬは、業深き人の所為に對して、隻手の無能なるを知るが故である。悲劇の偉大なるを知るが故である。悲劇の偉大なる勢力を味わわしめて、三世に跨がる業を根柢から洗わんがためである。不親切なためではない。隻手を挙げれば隻手を失い、一目を揺かせば一目を眇す。手と目を害のうて、しかも第二者の業は依然として変らぬ……………

〔著者プロフィール〕

北川扶生子(きたがわ・ふきこ)

天理大学教授。専門は日本近代文学。主な論文に「鉄柵のなかの／＼むこうの(自然表現)——日系アメリカ人強制収容所における自然出版、二〇七年」、「私をつくる教室 自然メディア・書くこと」(『交感』自然・環境に呼応する心)ミネルヴァ書房、二〇七年)などがある。

本体一、八〇〇円(+税)

四六判並製カバー装・二八〇頁
二〇二〇年一月刊行
ISBN978-4-585-29189-3 C0095

<p>書名</p> <h2 style="text-align: center;">漱石文体見本帳</h2> <p style="text-align: center;">北川扶生子 [著]</p> <p>ご送付先ご住所 (通信欄)</p>	<p>部数</p> <p>本体2,800円(+税)</p> <p>四六判並製カバー装・280頁</p> <p>2020年1月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-29189-3 C0095</p> <p>部</p>
--	--

同性愛文学の系譜

日本近現代文学におけるLGBT以前／以後

伊藤氏貴[著]

近代以降、同性愛は文学の中で

どのように表現されてきたのだろうか？

BL、百合という文脈で語られると共に、一方でLGBTQを考える為の文学としても注目されている「同性愛文学」。同性愛文学は、いつ誕生し、どのような変化を遂げてきたのであろうか？これまで同性愛文学の文脈からは取り上げられてこなかった作家も含め、明治から平成までの文学史の一側面に光を当てた1冊。

本体 **2,800円** (+税)

四六判上製カバー装・272頁
2020年2月刊行
ISBN 978-4-585-29191-6 C0095

目次

- はじめに 同性愛をめぐる二つの「自由」
- 序章 問題と方法——日本の同性愛文学と「LGBT」
- 第一章 「同性愛者」以前
- 第二章 「同性愛者」の誕生——三島由紀夫という分水嶺とその後
- 第三章 女性同性愛の文学
- 第四章 間奏 稲垣足穂と森茉莉——二つの抽象
- 第五章 同性愛文学の現在、あるいは「同性愛者」後の同性愛文学の可能性について
- 終章 新たな「自由」へ
- おわりに
- 引用文献一覧／年表

本書の特色

- ★男性・女性同士の恋愛文学に着目。
- ★近現代の著名な文学作家を幅広く紹介。

【収録作家(一部)】

森鷗外、芥川龍之介、
三島由紀夫、田村俊子、
吉屋信子、松浦理英子、
吉田修一、山崎ナオコーラ、
村田沙耶香、綿矢りさ

…など、50人以上の作品に言及。

著者プロフィール

伊藤氏貴(いとう・うじたか)

文芸評論家。明治大学文学部准教授。博士(藝術学)。麻布中学校・高等学校卒業後、早稲田大学第一文学部を経て日本大学大学院藝術学研究科修了。2002年に「他者の在処」で群像新人文学賞(評論部門)受賞。

書名	部数
同性愛文学の系譜 日本近現代文学におけるLGBT以前／以後 伊藤氏貴 [著]	本体 2,800円(+税) 四六判上製・272頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-29191-6 C0095
ご送付先ご住所(通信欄)	部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

文化情報学事典

2019年12月刊行!

村上征勝 [監修]

金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・
阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]

本体 **18,000**円 (+税)

A5 判上製カバー装・850頁
ISBN 978-4-585-20071-0 C3000

文化と情報にかかわる人々必携の一冊!

コンピューターの進歩により、デジタル情報の利用が飛躍的に加速している。感性や主観が重視されてきた文化の領域でも、文学・美術・考古・歴史・音楽・芸能をはじめとする文化資産をデジタル化し、保存・管理や展示を行う技術が進歩し、またデジタルな分析ツールの発展もめざましい。文化情報学は個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、データサイエンスという理系の横の糸で編みあげる文理融合型のアプローチであり、本書はその集大成である。

文化現象を
データサイエンスで
読み解く総合事典

内容構成

A 領域篇

- A1 文章・文献
- A2 言語
- A3 考古・歴史
- A4 人文地理
- A5 文化・芸術
- A6 身体文化・行動計量
- A7 コンピューター・情報

B データ分析篇

- B1 データ分析の基礎
- B2 量的分析法
- B3 質的分析法

C 分析用ソフト

- 付表 ●索引

※内容構成の詳細は裏面参照

本書の特色

- 「文化」と「情報」に関する文理融合型の総合事典
- 理論から具体的な実践例まで収録した“読む”事典
- 300を超える多くの図表・写真でビジュアルも充実
- 総計100名を超える第一線の研究者・専門家が執筆
- 分析ソフトの紹介と日本語／英語索引で検索も充実

【プロフィール】

[監修]

村上征勝 (むらかみ・まさかつ)

統計数理研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、元同志社大学文化情報学部長。工学博士。研究分野は計量文献学、統計学。主な著書に、『シェークスピアは誰ですか?——計量文献学の世界』(文春新書、2004年)、『文化情報学入門』(勉誠出版、2006年)、『計量文献学の射程』(共著、勉誠出版、2016年)などがある。

[編集]

金明哲 (同志社大学教授)

中園聡 (鹿児島国際大学教授)

赤間亮 (立命館大学教授)

宝珍輝尚 (京都工芸繊維大学教授)

渡辺美智子 (慶應義塾大学教授)

小木曾智信 (国立国語研究所教授)

矢野桂司 (立命館大学教授)

阪田真己子 (同志社大学教授)

芳沢光雄 (桜美林大学教授)

足立浩平 (大阪大学教授)

書名	部数
文化情報学事典 村上征勝 [監修] 金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・ 阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]	本体 18,000 円 (+税) A5判上製カバー装・850頁 ISBN 978-4-585-20071-0 C3000 2019年12月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

項目一覧

*項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]

文学・文献の計量分析/計量文献学/計量文体論/平安朝物語の計量分析/西鶴遺稿集の著者問題/『今昔物語集』の文体/中古和文における個人文体とジャンル文体/現代日本語の計量文体論/現代文におけるジャンル別の文体的特徴/論述文の文体的特徴/個人の文体変化/文体模倣の計量分析/川端康成の代筆疑惑/社会学におけるテキスト分析/ツイッターにおけるテキストの計量分析/SNSにおける計量テキスト分析/法科学分野の文章の計量分析

[A2 言語]

言語/コーパス言語学/書き言葉コーパス/話し言葉コーパス/学習者コーパス/形態素解析/構文解析/シソーラス/文字コード/方言地図とGIS/社会言語学調査/音声処理/言語系統論/機械翻訳

[A3 考古・歴史]

デジタル化時代の考古学・歴史学/考古遺物の数量分類/考古資料のデジタル記録/考古学における年代測定法・同位体分析/元素分析による土器の産地推定/地磁気による考古学的調査/地中レーダーによる遺跡探査/考古学におけるGIS/水中考古学とデジタル技術の利用/自然人類学と歴史研究/災害考古学/全国遺跡報告総覧/古文書に対する文字認識技術/情報考古学/民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]

学/計量地理学/地理情報システム/地理空間情報/地理情報科学/歴史GIS/地理人文学/ジオ・ビッグデータ(空間ビッグデータ)/景観分析/記憶地図/空間人文学と文学/デジタル地域学

[A5 文化・芸術]

文化・芸術と文化情報学/絵画/工芸品/服飾文化/無形文化のデジタルアーカイブ/映像・ゲーム/映像アーカイブ/出版文化・書物学/書物学(近代)/電子出版/音楽・音響/美術品・考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]

身体文化・行動計量/演劇/ダンス/演奏/お笑い/身体性認知/赤ちゃん学/スポーツバイオメカニクス/他者性/共同作業/アフオーダンス/身体性メディア技術/インタラクション

[A7 コンピューター・情報]

コンピューターと文化情報学/ビッグデータ/ソーシャルネットワーク/機械学習/深層学習/音声認識/デジタルミュージアム/情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]

文化情報学の源一数の発見とコンピューター/データの分類法/データの要約一度数分布表・グラフ・統計量/データに基づく推論/推定と検定/多変量解析

[B2 量的分析法]

量的変数と分析手法/量的データからの統計的推測/重回帰分析/新指標作成のための主成分分析/主成分分析の探索的活用/探索的因子分析/因果構造と検定の因子分析/分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法/テキストマイニングと可視化/潜在トピック分析/イメージマイニングと人工知能/空間統計学/データの欠測値処理

[B3 質的分析法]

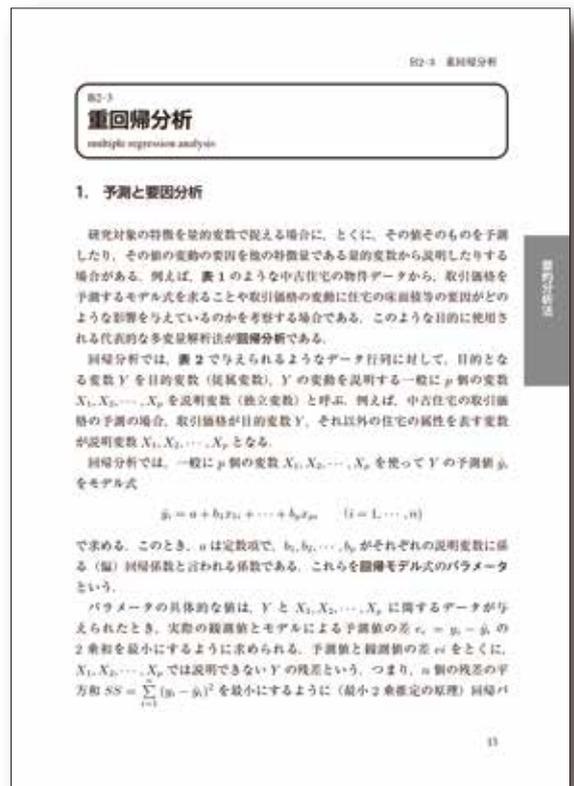
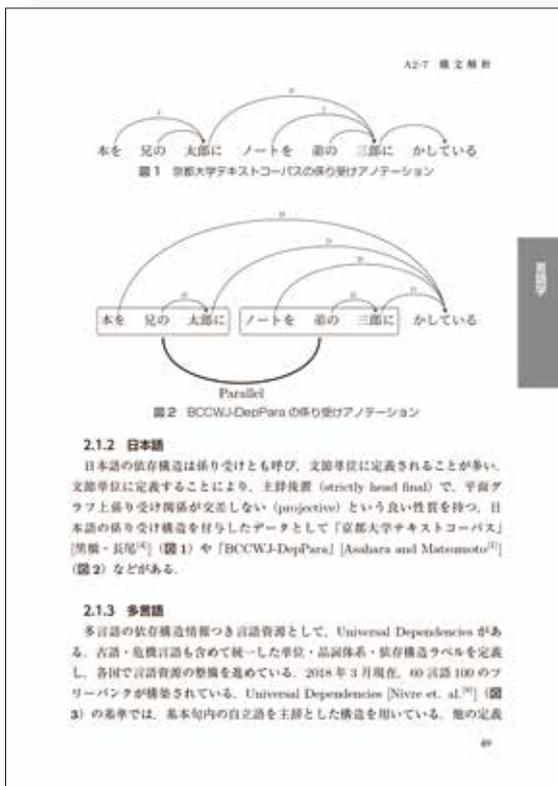
質的分析法/離散変数の分布/比率の推定と検定/適合度検定/分割表の解析/対数線形モデル/ロジスティック回帰分析/潜在クラス分析/数量化I類・II類/数量化III類/対応分析/項目反応理論/文化系統学/計量的文明論-林の数量化III類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト/計量テキスト分析のための自由(フリー)ソフトウェアKH Coder/テキスト分析ツールRMeCab/多言語テキスト統計分析ツールMTMineR

●付表 ●索引

本文組見本





永嶺重敏
〈著〉

ながみね・しげとし◎一九五五年生まれ。九州大学文学部卒業。元東京大学図書館職員。出版文化・大衆文化史研究者。日本出版学会、本マスコミュニケーション学会、メディア史研究会、日本ボビュ音楽学会会員。著書に「雑誌と読者の近代」(日本エッセイスト・クラブ社)、「一九九七年、日本出版学会賞」『オペベケ』節と明治』(文春新書、二〇一八年)、「二リンゴの唄」(の真実―戦後初めての流行歌を追う)、『青弓社、二〇一八年)、『歌う大衆と関東大震災―「船頭小唄」はなぜ流行したのか』(青弓社、二〇一九年) など多数。

明治の一発屋

芸人たち

珍芸四天王と民衆世界

四天王はなぜ消えた？

「ステテコ」の円遊、「ヘラヘラ」の万橋、「ラッパ」の円太郎、「テケレツ」の談志。

全国的な熱狂を引き起こしたにもかかわらず、歴史の狭間に消えた「珍芸四天王」たちの実像に迫る！

序章●明治前期の落語界と新奇性の追求

- ◎落語家の人数◎寄席と劇場と観客
- ◎寄席の取り締まりと新奇性の追求

第一部●珍芸の誕生とその民衆的起源

第一章◎ステテコ踊りの「新手」の誕生

- ◎ステテコ踊りとは◎ステテコ踊りの起源に関する定説
- ◎円遊の真打ち昇進とステテコ踊りの「新手」の誕生
- ◎ステテコ踊りの歌の変遷

第二章◎ヘラヘラ・ラッパ・テケレツの誕生―都市路上の再現

- ◎ヘラヘラ踊りは大道芸に起源
- ◎ラッパの円太郎―東京の路上の再現
- ◎談志は「郭巨」の故事を上演

第二部●珍芸ブームの全国的拡大と民衆世界

第三章◎珍芸ブームの展開過程

- ◎ヘラヘラ・ステテコが珍芸ブームを先導
- ◎七人男ブームの誕生◎四天王ブームへの移行
- ◎落語界から反発の声上がる

第四章◎珍芸ブームが全国へ広がる

- ◎珍芸の市中への拡がり◎珍芸の地方への伝播
- ◎関西の女芸人によるヘラヘラブーム

第三部●四天王の凋落と新たな芸人の登場

第五章◎四天王の凋落

- ◎大一座の解体◎万橋の「田舎稼ぎ」
- ◎ラッパ芸に生きた円太郎◎円遊は落語界の重鎮へ
- ◎落語研究会と円遊の凋落

第六章◎明治二十年代の新たな芸人と歌の流行

- ◎川上音二郎と「オペベケ」
- ◎春風亭双枝と「ヤツケロ節」◎徳永里朝と「緑かいな」

おわりに・参考文献・挿図一覧

- 資料1 「万橋坊主ノ伝」 椋盆子(関謙之)
- 資料2 四天王の口演速記演目リスト(明治期刊行分)
- 資料3 円遊口演の録音資料

本体3,500円(+税)
四六判上製カバー装・280頁(附・カラー口絵)
2021年1月刊行
ISBN978-4-585-27058-4 C0076

<p>書名</p> <p>明治の一発屋芸人たち</p> <p>珍芸四天王と民衆世界</p> <p>永嶺重敏〈著〉</p>	<p>部数</p> <p>本体3,500円(+税)</p> <p>四六判上製カバー装・280頁(附・カラー口絵)</p> <p>2021年1月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-27058-4 C0076</p> <p>部</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

ローザ・カーロリ〈著〉……一九六〇年生まれ。ウエネツア「カフオスカリ」大学教授。専門は、日本近現代史、沖縄史、江戸・東京の都市史。
大内紀彦／フィリップ・ドルネッティ〈訳〉

土地の記憶から
読み解く

早稲田

江戸・東京の
なかの
小宇宙
ミクロコスモ

早稲田を
歩き、
江戸・東京
を知る!

古写真・古地図
浮世絵・古文書
など、
図版点数
100点超!

大都市東京の周縁、 早稲田境界。

低地と台地と、多くの坂に形どられたこの地を
歩き続けた一人のイタリア人研究者がいた。

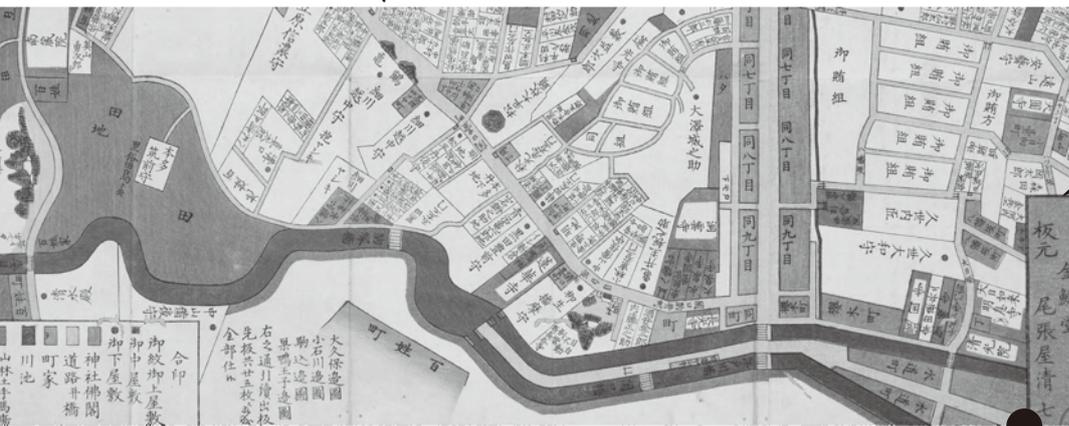
神田川・東京専門学校・尾張藩下屋敷・穴八幡宮・
胸突坂・夏目漱石・椿山荘――

過去と現在、様々な学問領域を横断する自在な構想力で、
古代・中世・近世に遡る土地の基層を掘り起こし、
早稲田という「小宇宙(ミクロコスモ)」から、

江戸・東京という「大宇宙(マクロコスモ)」を描く。

膨大な文献・史料・地図の博搜と現地踏査から
土地の文化的・歴史の価値を発見する、

もうひとつの江戸・東京学。



本書の構成

読書案内……陣内秀信

カラー口絵

【第1章】井の頭から江戸の井戸まで
――神田川と水都としての江戸の発展

【第2章】江戸から大江戸へ
――振袖火事と早稲田境界の下屋敷の誕生

【第3章】椿の山――神田川の北側

【第4章】早稲田

『東京の空間人類学』著者、
ブラタモリでもあなじみ、

陣内秀信先生
推薦!

本体二七〇〇円(+税)

四六判並製カバー装・二七二頁(+カラー12頁)

二〇二一年三月中旬刊行

ISBN978-4-585-22299-6 C0021

書名	部数
土地の記憶から読み解く 早稲田 江戸・東京のなかの小宇宙 ローザ・カーロリ〈著〉大内紀彦／フィリップ・ドルネッティ〈訳〉	部
本体 2,700円(+税)	
四六判並製カバー装・272頁(+カラー口絵12頁) 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-22299-6 C0021	
ご送付先ご住所(通信欄)	

日本の図書館建築

建築からプロジェクトへ

五十嵐太郎・李明喜 [編]

戦後日本の公共図書館建築の歴史をたどる——

日本の公共図書館は、いわゆる「箱モノ」から、コミュニケーションなどを重視した「有機的なモノ」へと変化を遂げている。こうした変化はいつごろから見られるようになってきたのだろうか？

戦後間もない1950年代から、2020年代の現在まで、全国各地にある特色ある公共図書館を紹介することで、図書館建築の歴史的流れを追った一冊。

掲載図版
(フルカラー!)
200
点以上



目次

第I章——黎明期～確立期 1955～70年代 図書館が根付いた時代の建築

大阪府立中之島図書館●神奈川県立図書館●北九州市立八幡図書館●東京都立日比谷図書館(現・千代田区立日比谷図書文化館)●国立国会図書館●佐賀県立図書館●ほか

第II章——発展期 80年代～2000年前後 多様化する図書館のデザイン

北九州市立中央図書館●軽井沢町立図書館●山形県立図書館●小牧市立図書館●金沢市立玉川図書館●日野市立高幡図書館●杉並区立中央図書館●岡崎市立中央図書館●ほか

第III章——変革期 00年代～現在 新しい状況をもたらす図書館建築の変化

仙台市民図書館／せんだいメディアテーク●国立国会図書館国際子ども図書館●国立国会図書館関西館●福井県立図書館・福井県文書館・福井ふるさと文学館●ほか

第IV章——これからの図書館建築に向けて 現実空間と情報空間が重なった時代の 環境としての図書館

本書の特色

●第1章から第3章では、全国各地にある公共図書館60館以上を選び、その建築における特色を紹介。掲載写真は館外・館内含め、すべてカラーで掲載(一部モノクロあり)。

●第4章では現在進行形で活躍中の若手建築家へのインタビューを掲載。公共図書館をどのように設計したかなど、建築家は図書館建築に対してどのように臨んでいるかを知ることができる。

●これまでに図書館の建築を扱った書籍はいくつか刊行されているが、1950年代から現在までの最新の流れを追ったものはなく、本書が初。

本体 3,500 円 (+税)

A5判並製カバー装・336頁
ISBN 978-4-585-20074-1・C1000
2021年3月刊行

編者プロフィール

五十嵐太郎(いがらし・たろう)

1967年生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。東北大学教授。専門は都市・建築理論。主な著書に、『建築の東京』(みすず書房、2020年)、『日本建築入門』(ちくま新書、2016年)、『現代建築に関する16章』(講談社、2006年)などがある。ヴェネツィアビエンナーレ国際建築展2008の日本館コミッショナー、あいちトリエンナーレ2013の芸術監督、「インボッシブル・アーキテクチャー」展(2019-2020年)の監修などをつとめる。

李明喜(り・みよんひ)

1966年生まれ。デザイナー。アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg)取締役 CDO(最高デザイン責任者)。1998年、デザインチームmattを立ち上げ、商業&公共施設の空間デザインやアート・キュレーション業務を行う。2014年より、arg社のデザイナーとして、須賀川市、西ノ島町、長野県などで、図書館を中心とした新しい文化施設づくりや地域のデザインにあたっている。図書館管理運営計画、ミュージアムキュレーションなどを担当した「須賀川市民交流センターtette」は、2019年グッドデザイン金賞を受賞。

書名	部数
日本の図書館建築 建築からプロジェクトへ 五十嵐太郎・李明喜 [編]	本体 3,500 円 (+税) A5判並製カバー装・336頁 ISBN 978-4-585-20074-1・C1000 2021年3月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

デジタルアーカイブ・ベーシックス 5

新しい、産業創造へ

時実象一 [監修]
久永一郎 [責任編集]

デジタルアーカイブを
活用・運用していくための
基礎を学ぶことのできる
必読のシリーズ

デジタルアーカイブが産業の未来を切り拓く

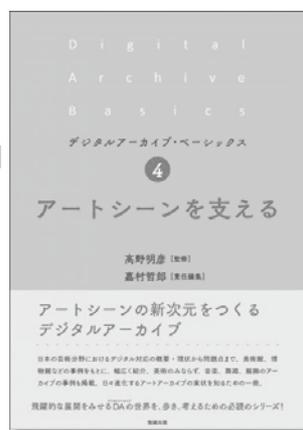
日本の企業はデジタルアーカイブをどのように利活用し、それをビジネスに昇華しているのか？

先進的な企業の取組みを紹介することで、産業におけるデジタルアーカイブの可能性を探る。

「デジタルアーカイブ・ベーシックス」全5巻、ここに完結！

定価 **2,750**円(税込)・本体2,500円

A5判並製カバー装・288頁
ISBN 978-4-585-20285-1・C1000
2021年5月刊行



はしがき◎時実象一
序論 デジタル技術とデジタルアーカイブ産業の可能性◎島裕

第1部 デジタルアーカイブの活用

- 第1章 世界のビジネス・アーカイブズ概観◎松崎裕子
- 第2章 ポーラ文化研究所における文化資産の展開
——「化粧文化データベース」を中心に◎川上博子
- 第3章 美術と歴史の分野における画像ライセンスビジネス◎國谷泰道
- 第4章 フィジカルからデータにいたるコンテンツアーカイブの課題とビジネス展開◎緒方靖弘

第2部 デジタルアーカイブ産業を支える技術革新

- 第5章 情報システム開発の視点から見る日本のデジタルアーカイブ技術の水準◎川島健一
- 第6章 座談会 デジタルアーカイブ技術開発の動向◎大向一輝・肥田康・手嶋毅 (司会)岡本真
- 第7章 アートの世界を変えるブロックチェーン◎太田圭亮

第3部 デジタルアーカイブ産業の兆し

- 第8章 「デジタルアーカイブ産業」の萌芽と期待◎伊屋早百合・小林慎太郎
 - 第9章 デジタルアーカイブを活用した自治体史編さん事業の提案◎太田亮子
 - 第10章 映像保存の現在地とこれから
——変わりゆくデジタル技術・長期保存メディア・制度を見つめて◎藤原理子
 - 第11章 気象ソリューションで世界企業に◎安部大介
- あとがき◎久永一郎

監修 時実象一(ときざね・そういち)

1944年生まれ。東京大学大学院情報学環高等客員研究員。専門はデジタルアーカイブ、学術情報、ウェブ検索、ウィキペディア。主な著書に『研究者のコピペと捏造』(樹村房、2018年)、『コピペと捏造』(樹村房、2016年)、『デジタル・アーカイブの最前線』(講談社、2015年)などがある。

責任編集 久永一郎(ひさなが・いちろう)

1967年生まれ。大日本印刷株式会社マーケティング本部事業戦略ユニットヒューマン・エンジニアリング・ラボ室長。専門はエクスペリエンスデザイン・インタラクションデザイン。

書名	部数
第5巻…新しい産業創造へ 時実象一 [監修] / 久永一郎 [責任編集]	部
第1巻…権利処理と法の実務 福井健策 [監修] / 数藤雅彦 [責任編集] 978-4-585-20281-3 C1000 2019年3月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第2巻…災害記録を未来に活かす 今村文彦 [監修] / 鈴木親彦 [責任編集] 978-4-585-20282-0 C1000 2019年8月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第3巻…自然史・理工系研究データの活用 井上透 [監修] / 中村覚 [責任編集] 978-4-585-20283-7 C1000 2020年4月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
第4巻…アートシーンを支える 高野明彦 [監修] / 嘉村哲郎 [責任編集] 978-4-585-20284-4 C1000 2020年12月 定価2,750円(税込)・本体2,500円	部
デジタルアーカイブ・ベーシックス 全5巻 定価 各 2,750 円(税込)・本体2,500円 A5判並製カバー装・各巻208頁～312頁	セット

ご送付先ご住所 (通信欄)

「デジタルアーカイブ・ベーシック」シリーズ 全5巻完結!

Digital Archive Basics

権利処理と法の実務 第1巻

福井健策[監修] / 数藤雅彦[責任編集]

シリーズ発刊にあたって デジタルアーカイブ学会会長◎長尾真 / まえがき◎福井健策 / デジタルアーカイブの構築に関わる法制度の概観——最近の法改正等を中心に◎生貝直人

第1部 理論編

著作権の諸問題(1) 保護期間満了(パブリックドメイン)の判断基準◎数藤雅彦・橋本阿友子 / 著作権の諸問題(2) オープンワークスへの対応◎瀬尾太一 / 自治体が運営する災害デジタルアーカイブ——肖像・プライバシー等を巡る現状と課題◎長坂俊成 / 所有権の諸問題——オープンフィルムの寄贈に関する問題を例に◎山元裕子・【特別寄稿】とちぎあきら

第1巻

978-4-585-20281-3 | C1000 | 2019年3月
定価 2,750円(税込)・本体 2,500円

第2部 実践編

公共機関デジタルアーカイブ構築の実務と問題点——国立国会図書館を例に◎井上奈智 / アニメーション・アーカイブから見る資料を取り巻く権利とその問題点——I.Gアーカイブの事例より◎山川道子・金木利憲 / 美術全集のデジタルアーカイブ構築の実務と問題点◎清水芳郎 / コラム:映像コンテンツのデジタルアーカイブのための権利処理実務◎宮本聖二 / デジタルアーカイブのライセンス表示についての動向◎時実象一 / デジタルアーカイブ活用促進のための新しい法的環境の在り方◎福井健策・藤森純
あとがき◎数藤雅彦 / 執筆者一覧

災害記録を未来に活かす 第2巻

今村文彦[監修] / 鈴木親彦[責任編集]

震災・災害デジタルアーカイブの今日的意義——新しい防災文化の創生を目指して◎今村文彦

第1部 震災・災害の記録を残すことの意義と目的

震災・災害アーカイブの役割と歴史の変遷と現状◎柴山明寛 / 放送局による東日本大震災アーカイブの意義——NHK東日本大震災アーカイブを事例に◎宮本聖二 / 震災の記録を横断する——国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎ)の意義と課題◎伊東敦子 / 前田雄志

第2部 復興に向けて人々の声、地域の歴史を残す

第2巻

978-4-585-20282-0 | C1000 | 2019年8月
定価 2,750円(税込)・本体 2,500円

東北からの声——口承記録デジタルアーカイブから防災・減災のためのアプリケーションへ◎フラヴィア・フルコ・ロビン・オディ、デビッド・スレイター / 「命の軌跡」は訴える——東日本大震災、地方紙とデジタルアーカイブ◎鹿糠敏和 / 市民の力で地震史料をテキスト化「みんなで翻刻」◎橋本雄太

第3部 未来のためのデジタルアーカイブ——震災・災害情報の利活用

災害の非可逆性とアーカイブの精神——デジタル台風・東日本大震災デジタルアーカイブ・メモリーグラフの教訓◎北本朝展 / 歴史地震研究と日記史料有感地震データベース◎西山昭仁 / 防災科学技術研究所の災害資料とデジタルアーカイブ——自然災害資料の収集・整備・発信◎三浦伸也・鈴木比奈子 / 記憶の解凍——資料の“フロー”化とコミュニケーションの創発による記憶の継承◎渡邊英徳 / あとがき◎鈴木親彦 / 執筆者一覧

自然史・理工系研究データの活用 第3巻

井上透[監修] / 中村覚[責任編集]

自然史・理工学デジタルアーカイブの今日的意義◎井上透

第1部 研究データの活用に向けて

科学データのデジタルアーカイブにおける必須条件「オープンデータ」◎大澤剛士 / 研究データ活用の国際的動向——世界の自然史・理工学DA活用◎南山泰之

第2部 自然史・理工学DAの社会的活用

オープンサイエンスと天文学——現状と課題◎玉澤春史 / 自然史博物館×デジタルアーカイブ——オープンサイエンスを拓く一例としての魚類写真資料データベース◎大西亘

第3巻

978-4-585-20283-7 | C1000 | 2020年4月
定価 2,750円(税込)・本体 2,500円

自然史情報のデジタルアーカイブと社会的問題への利用——地球規模生物多様性情報機構(GBIF)の機能とそのデータの活用◎細矢剛 / 環境学×教育——森の感性情報アーカイブ・サイバーフォレストを用いた環境教育◎中村和彦

第3部 自然史・理工系研究データの学際的利用

南方熊楠データベース—文理統合・双方向型デジタルアーカイブ◎岩崎仁 / 異分野融合で切り拓く歴史的オーロラ研究——オーロラ4Dプロジェクトの経験から◎岩橋清美 / 東京大学工学史料キュレーション事業の展開—工学・情報理工学図書館を実例に◎市村櫻子 / あとがき◎中村覚

アートシーンを支える 第4巻

高野明彦[監修] / 嘉村哲郎[責任編集]

まえがき 高野明彦(国立情報学研究所)

Scene 0 ゼロ地点のDA

アート×デジタルアーカイブのこれまでとこれから 青柳正規

Scene 1 アートシーンにおけるデジタル対応の現況

デジタルアーカイブはどのようにしてアートの振興に貢献するか?◎太下義之 / デジタルアーカイブ・ピトーブ——相互関し複層化する、作品環境世界◎田尾圭一郎 / アートのデジタルコンテンツの権利処理に関わる法的問題について◎酒井麻千子

Scene 2 デジタル技術とアート現場のDA

第4巻

978-4-585-20284-4 | C1000 | 2020年12月
定価 2,750円(税込)・本体 2,500円

メディアアート領域にとつてのデジタルアーカイブ——国内外の動向◎森山朋絵 / デジタル技術と現代のアートの保存◎平論一郎

Scene 3 パフォーマンスとアートのDA

早稲田大学演劇博物館のデジタルアーカイブの現状と課題◎中西智範 / 土方巽アーカイヴ—実験的アーカイブの理念と活動◎森下隆 / 日本のオペラアーカイブの現状と課題◎石田麻子・吉原潤 / 〈服装・身装文科デジタルアーカイブ〉の現在と今後の課題◎高橋晴子

Scene 4 ミュージアムとアートのDA

オープンなデジタルミュージアム——多様な価値の共存と高い規模拡張性◎金子晋文 / 国立博物館所蔵品統合検索システム「ColBase」——過去・現在・未来◎村田良二 / 文化遺産オンライン試験公開版の構築◎丸川雄三 / ヨコハマ・アート・LOD その成り立ちと構成◎相澤勝・小林厳生 / アート・プロジェクトの現場で取り組むアーカイブの試み◎井出竜郎 / あとがき◎嘉村哲郎

新しい産業創造へ 第5巻

時実象一[監修] / 久永一郎[責任編集]

はしがき 時実象一

序論 デジタル技術とデジタルアーカイブ産業の可能性◎島裕

第1部 デジタルアーカイブの活用

世界のビジネス・アーカイブス概観◎松崎裕子 / ポーラ文化研究所における文化資産の展開—「化粧文化データベース」を中心に◎川上博子 / 美術と歴史の分野における画像ライセンスビジネス 國谷泰道 / フィジカルからデータにいたるコンテンツアーカイブの課題とビジネス展開◎緒方靖弘

第2部 デジタルアーカイブ産業を支える技術革新

情報システム開発の視点から見る日本のデジタルアーカイブ技術の水準◎川島健一

第5巻

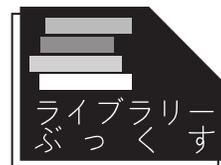
978-4-585-20285-1 | C1000 | 2021年5月
定価 2,750円(税込)・本体 2,500円

座談会 デジタルアーカイブ技術開発の動向◎大向一輝・肥田康・手嶋毅 (司会)岡本真 / アートの世界を変えるブロックチェーン◎太田圭亮

第3部 デジタルアーカイブ産業の兆し

「デジタルアーカイブ産業」の萌芽と期待◎屋原早百合・小林慎太郎 / デジタルアーカイブを活用した自治体史編さん事業の提案◎太田亮子 / 映像保存の現在地とこれから—変わりゆくデジタル技術・長期保存メディア・制度を見つめて◎藤原理子 / 気象ソリューションで世界企業に◎安部大介 / あとがき◎久永一郎

変化する社会とともに歩む 学校図書館



野口武悟 [著]

時代ごとに変化する学校図書館。教育と図書館の相関を見る——

「本離れ」が叫ばれる中で、学校図書館は読書、ひいては本の大切さをどのように説いているのであろうか。また、司書教諭に関する法律改正などに伴って、現場はどう変化しているのだろうか？歴史的な側面を概括し、制度論も交えながら現在の学校図書館の達成ポイントと課題を論じる。デジタル環境など新しいトピックや、授業における図書館利用などについても見ていくことで、「本との出会い」だけにとどまらない図書館の教育的効果を考える。さらに小学校から高校までの学校図書館を取り巻く環境と、現在行なっている取組を、代表的な学校の司書によるコラムを交えて紹介し、実際の現場に迫る。

目次

まえがき
序 章：学校図書館の過去と現在
第1章：子どもの「学び」のいまと学校図書館
第2章：子どもの多様な育ちに応える学校図書館
第3章：子どもの多様な発達を支える学校図書館
第4章：社会の情報化と学校図書館
第5章：社会のグローバル化と学校図書館
第6章：進展する公共サービスの市場化と学校図書館
第7章：市民活動社会と学校図書館
第8章：社会の少子・高齢化、過密・過疎化と学校図書館
終 章：変化・成長する有機体としての学校図書館
補 章：新型コロナウイルスの感染拡大と学校図書館
あとがき

コラム

- ①学校図書館に、カフェあります——田奈高校「ぴっかりカフェ」のこれまでと、「校内居場所カフェ」のこれから ●松田ユリ子(神奈川県立新羽高等学校 学校司書)
- ②東京都立墨東特別支援学校の取組と、今後の課題 ●生井恭子(東京都立墨東特別支援学校 司書教諭)
- ③中央大学附属中学校・高等学校の図書館におけるICT活用の現状について ●平野 誠(中央大学附属高等学校・中学校 司書教諭)
- ④海士町・島まるごと図書館構想の歩み ●磯谷奈緒子(島根県海士町中央図書館 司書)

本書の特色

- 公共図書館や大学図書館に比べて、ともすれば見落とされがちな小学校から高校までの学校図書館について、社会情勢も踏まえてまとめて論じている。
- 2020年の新型コロナウイルス禍における学校図書館の取組みも掲載。
- 実際に学校図書館の現場に従事している司書によるコラムでは、実践的な例を紹介。

著者プロフィール

野口武悟 (のぐち・たけのり)

専修大学文学部ジャーナリズム学科教授・学科長、放送大学教養学部客員教授。専門は図書館情報学、学校教育学、社会福祉学。主な著書に、『多様性と出会う学校図書館——一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ』(共編著、読書工房、2015年)、『図書館のアクセシビリティ——「合理的配慮」の提供へ向けて』(共編著、樹村房、2016年)、『改訂新版 学校経営と学校図書館』(共編著、放送大学教育振興会、2017年)、『学校司書のための学校教育概論』(共編著、樹村房、2019年)、『多様なニーズによりそう学校図書館——特別支援学校の合理的配慮を例に』(共著、少年写真新聞社、2019年)などがある。

定価 **2,420**円(税込)・本体2,200円

四六判並製カバー装・288頁
ISBN 978-4-585-20081-9・C0000
2021年4月刊行

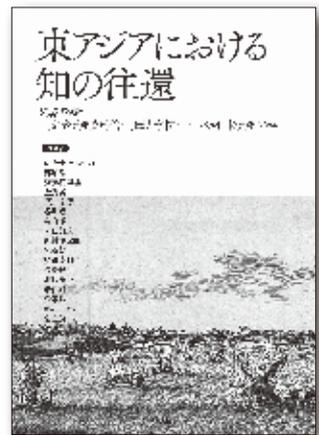
書 名	部 数
変化する社会とともに歩む 学校図書館 野口武悟 [著]	定価 2,420 円(税込)・本体2,200円 四六判並製カバー装・288頁 ISBN 978-4-585-20081-9・C0000 2021年4月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院

〔共編〕

東アジアにおける知の往還

〔アジア遊学255〕



東アジアにおける知の動態を明視する

気候危機にパンデミック、市民間の分断…。生命をも脅かす大きな困難が次々に起こる現代、我々はいかにして大量の情報を「個」として的確に受け止め、判断の材料に変換できるのか。そのための「知」を下支えするものの根拠を豊富な文献に求め、歴史的経緯を留めた表現の集合体から照射することで新規の問いかけに繋げる。文学史、美術史、思想史、歴史学、アーカイブズ学など、多面的な視角から、東アジアにおける知の往還を描き出す。

〔目次〕

序

刊行によせて●ロバートキャンベル

刊行によせて●鄭炳浩

本書の企画と構成●齋藤真麻理・金秀美

I 書物と文化

『栄花物語』と朝鮮王朝の宮廷文学

——『閑中録』との比較を中心として●桜井宏徳

遺稿集の季節——二十世紀前半の日本の言説編制●谷川恵一

近代日本の元寇図と『蒙古襲来絵詞』●金容澈

（コラム）絵画と文字の表現コード

——『源氏物語絵巻』を読み解く●金秀美

（コラム）奈良絵本と『徒然草』

——ジャンルを往還するメディア●齋藤真麻理

（コラム）正方形の本をめぐる●入口敦志

II 記録と記憶

日本と韓国の災難文学と記憶

——セウオル号沈没事件と東日本大震災の災難詩を中心として●鄭炳浩

近代福島県富岡町小良ヶ浜の文書管理——複合災害・縁故地・区有文書●西村慎太郎

（コラム）『三国遺事』を巡るいくつかの知見について●宋洗範

言語と滅刑——森鷗外『高瀬舟』において●野網摩利子

（コラム）在日朝鮮人「帰国事業」の記録と記憶の文学●金季杼

III 都市という舞台

江戸における巨大寺院の復興と講中——築地本願寺の場合●渡辺浩一

日本の伝統詩歌に描かれた大都會の風土●嚴仁卿

（コラム）『京城日報』と近代都市京城の表象

——横光利一の満鉄招請文学講演旅行と「天使」を中心に●金孝順

パリが主人公

——レティフとメルシエの作品とパリの文学的神話の誕生●ギョーム・カレ

（コラム）日韓の西洋探偵小説における都市表象

——エミール・ガボリオの『ルージュ事件』を中心に●倉在真

定価 **3,080** 円(税込) 本体 2,800 円
A5 判並製カバー装・200 頁
ISBN978-4-585-32501-7 C1395
2021年4月刊行

書名	東アジアにおける知の往還 【アジア遊学No.243】 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 〔共編〕	部数	部
ご送付先ご住所（通信欄）			

「本読み」の民俗誌 交叉する文字と語り

川島秀一 [著]

〈本〉と呼ばれるモノは
いかに民俗社会と関わってきたのか――

宗教的な講や田の水引きの農作業など村人が集まる機会に、
独特の節回しで本を読んで聞かせる人びと、ホンヨミ。
彼らによって読み伝えられた物語や由緒は、語り継がれ、
また、時には書き写されながら、昭和初期に至るまで
地域社会の共通の知となっていた。
地域社会において、〈本〉は、そして〈読む〉ことと〈書く〉ことは
どのような意味を持っていたのか。
三陸地方を中心に、
ホンヨミに触れてきた現代の人びとへの
直接の取材から浮かび上がる民俗社会を描き出す。

著者プロフィール

川島秀一 (かわしま・しゅういち)

一九五二年生まれ。東北大学災害科学国際研究所
シニア研究員。専門は民俗学。著書に『漁撈伝承』
(法政大学出版局、二〇〇三年)、『憑霊の民俗』(三
弥井書店、二〇〇三年)、『津波のまちに生きて』
(富山房インターナショナル、二〇一二年)、『海と生
きる作法』(富山房インターナショナル、二〇一七
年)などがある。

本体 3,500 円(+税)

四六判・上製カバー装・320頁
ISBN978-4-585-23081-6 C1039
2020年6月刊行



目次

はじめに――声なき文字の時代を迎えて

第一部 「本読み」の民俗

第一章 「本読み」の民俗――宮城県気仙沼地方の事例から

第二章 文字を聞く・文字を語る――「本読み」の民俗誌

第二部 書物と語り

第一章 語り伝えと書き伝え――「歌津敵討ち」をめぐる

第二章 「女川口説」の伝承誌

第三章 ムラの歴史を語ること――仙台藩入谷村の「郷土誌」の発生

第四章 「入谷安部物語」の伝承世界

第三部 漁村社会と文字文化――呪いから漁業権まで

第一章 「歌詠み」の民俗――宮城県気仙沼地方の事例から

第二章 花洲善兵衛のお通りだ――蛇除けの呪いを伝える家の伝承

第三章 鮭魚をめぐる伝説と歴史伝承――気仙川の漁業権の解放と規制

第四章 「浮鯛抄」をめぐる文字と口頭の伝承

まとめに――「本読み」から「民俗書記」へ
あとがき／初出一覧

書名	部数
「本読み」の民俗誌 交叉する文字と語り 川島秀一 [著]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

本体 3,500 円(+税)
四六判・上製カバー装・320頁
2020年6月刊行
ISBN978-4-585-23081-6 C1039

メディアのなかの仏教

近現代の仏教的人間像

森 覚 [編]

メディアと表象が織りなす宗教文化

近現代のメディアをめぐる一大転換は、宗教という領域の創作行為、情報共有、知識の扱い方へも大きな変化を生じさせた。メディアが生成した宗教表象を受容することで、

どのような仏教文化が生み出されたのか。文化的所産である仏教的人物像の性質と機能を明らかにし、仏教文化に見られるメディア表現の創造と受容の実態へ迫る。

森 覚 (もり・かく)

一九七五年生まれ。大正大学大学院文学研究科比較文化専攻博士後期課程修了。博士(文学)。大正大学非常勤講師、仏教文化におけるメディア研究会会長、仏教文化資源研究会会長、比較芸術論。専門は絵本学、表象文化論、比較芸術論。著書に『絵本の事典』(共著、朝倉書店、二〇一二年)、『時空を超える生命(いのち)の意味を問う』(共著、勉誠出版、二〇一三年)、『絵本ものがたりE.N.D.』(共著、朝倉書店、二〇一六年)などがある。

本体七、五〇〇円(+税)

A5判上製・三五二頁

二〇二〇年五月刊行

ISBN978-4-585-21054-2 C3015

巻頭言 ● 森 覚

序 論 創りかえられる仏教的人間像

—— 宗教表象の創出と再生産 ● 森 覚

第一章 仏教絵本『こどものくに別冊 おしゃかさま』にみるブツダのイメージ ● 森 覚

第二章 新聞小説と親鸞——石丸梧平の人間親鸞像 ● 大澤 絢子

第三章 高橋五山と仏教紙芝居——勢至丸様を中心に ● 高橋 洋子

第四章 近現代ドイツにおけるブツダのイメージ

——ヘルマン・ベック、フリードリヒ・ハイラー、カール・ヤスパーズ ● 嶋田 毅寛

第五章 明治期の文学における仏教的表象の萌芽

——露伴作品を視座として ● 渡辺 賢治

第六章 変容する妙好人像 ● 渡辺 隆明

第七章 「風景」から「即身」へ——「空海」を、今、体感す ● 猪股 清郎

第八章 一九六〇年代の大衆文化に見る非合理への欲望

——「飢餓海峡」「恐山の女」の中の「恐山」と「イタコ」 ● 大道 晴香

第九章 現代消費社会における「ブツダ」像

——手塚治虫『ブツダ』から中村光『聖☆おにいさん』への転生 ● 今井 秀和

あとがき——仏教文化におけるメディア研究会の活動をふりかえる ● 森 覚



書 名	部 数
メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像	
森 覚 [編]	
ご送付先ご住所 (通信欄)	
	本体 7,500円(+税) A5判上製カバー装・352頁 2020年5月刊行 ISBN978-4-585-21054-2 C3015

渋沢敬三と

アチック・ミュージアム

知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷

加藤幸治 [著]

著名な財界人であり、
日本民俗学の礎を築いた巨人、渋沢敬三。

「屋根裏」の名を冠した私設博物館兼研究所

「アチック・ミュージアム」を開設した彼のもとには、
多種多様な人々が集まり、
学問を紐帯としたある種の共同体が形成されていた…

人文学本来のかたちを体現する、
人びとの興味と能力が調和・共鳴し合いながら

互いの成長をはぐくむ共同空間を作り出した
渋沢とその仲間たちの営為・思想から、

文化創造のあり方を探る。

「人格的に平等にして而も

職業に専攻に性格に相異つた人々の力の総和が

数学的以上の価値を示す喜びを皆で共に味ひ度い。

ティームワークのハーモニアスデヴェロップメントだ。」

(渋沢敬三「アチック根元記(一)」、昭和十年より)

【著者紹介】

加藤幸治(かとうこうじ)

一九七三年生まれ。武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程教授。専門は日本民俗学。
主な著書に『復興キュレーション——語りのオーナードリップで作る伝える、くくじら
まち』(社会評論社、二〇一七年)、『文化遺産シニア時代——価値を深掘る、ずら
しの視覚』(社会評論社、二〇一八年)などがある。

本体三、五〇〇円(+税)・四六判並製カバー装・三六四頁

二〇二〇年一月刊行・ISBN978-4-585-22263-7 C1021

*「渋沢敬三(しづさわけいぞう)」……

一八九六(明治二十九年)年、東京生まれ。渋沢栄一の孫。東京帝国
大学経済学部卒業後、横浜正金銀行に入行、その後第一銀行に
入り、取締役、副頭取を歴任し、一九四二年に日本銀行副総裁に
転出。一九四四年総裁に昇任。一九四五年には大蔵大臣(幣原内
閣)に就任。日本の経済界に多くの貢献をした。

また、若き日の柳田國男との出会いから民俗学に傾倒し、港区
三田の自邸車庫の屋根裏に、私設博物館「アチック・ミュージア
ム」を開設(第二次大戦中に「日本常民文化研究所」と改称)。ア
チックの同人らとともに纏めた『豆州内浦漁民史料』を刊行し、
一九四〇年日本農学賞を受賞。他に『日本釣魚技術史小考』『日
本魚名集覧』『塩俗問答集』などを著した。

東京近郊の保谷に民族学協会附属博物館を開設し、実業史博物
館の建設を構想するなど、戦後の博物館・アーカイブス・文化財
保護の礎を築いた。

【まえがき】

はじめに——なぜ今、渋沢敬三なのか

第一章 学問の形成

第一節 いかにも生きるかの模索／第二節 経済史的思考の確立

第二章 学問の萌芽

第一節 博物館的思考の形成／第二節 アチック・ミュージアム・再起動

第三節 研究のコミュニケーション形成

第三章 学問の開花

第一節 民具研究の実像／第二節 漁業史研究の実像

第三節 項目調査と郵便の活用

おわりに——渋沢敬三の学問の流儀と人文学のこれから

あとがき／参考文献一覧／アチック・ミュージアム刊行物一覧

書名	部数
渋沢敬三とアチック・ミュージアム 知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷 加藤幸治 [著]	本体3,500円(+税) 四六判並製カバー装・364頁 2020年1月刊行 ISBN978-4-585-22263-7 C1021
ご送付先ご住所(通信欄)	部

日本 アニメ 誕生



もくじ

- まえがき
- 第一章…手塚治虫との出会い。押しかけ原作を強要
- 第二章…エイトマン誕生！「細胞具」って、なに？
- 第三章…シナリオがない！
- 第四章…社長が消えた！
- 第五章…アトム輸出。お茶の水博士は、ドイツ人？
- 第六章…「イルカ文明の巻」視聴率トップ
- 第七章…手塚治虫とけんか別れ
- 第八章…再びTBSへ
——『スーパージェッター』『宇宙少年ソラン』
- 第九章…『宇宙戦艦ヤマト』下敷きは西遊記
- 第十章…パラレル・クリエーションのころ
- 第十一章…日本アニメの将来

豊田有恒◎著

本体 1,800円(+税)

四六判並製カバー装
カラー口絵8頁+本文232頁
2019年8月刊行
ISBN978-4-585-27056-0 C0076



手塚治虫をはじめ、 黎明期を支えた人々との交流と 試行錯誤の日々——

日本アニメのオリジナル・シナリオライター第一号として、『鉄腕アトム』『エイトマン』『宇宙戦艦ヤマト』などエポックメイキングとなる作品とともに歩んだ筆者がアニメ誕生秘話を縦横無尽に語り尽くす。

**貴重なエピソード・台本や写真など
お蔵出し資料満載！**



著者プロフィール

豊田有恒(とよた・ありつね)

1938年生まれ。1961年『時間砲』で第一回空想科学小説コンテスト佳作入賞。『エイトマン』『鉄腕アトム』など、黎明期のアニメ界にシナリオライターとして参加、日本アニメのオリジナル・シナリオライター第一号となる。以後、SF翻訳家を経て、SF作家として独立。87年、日本SF作家クラブ会長。2000年より島根県立大学教授。現在、同大学名誉教授。著書に、『火星で最後の……』(早川書房)、『モンゴルの残光』(ハルキ文庫)、『倭王の末裔——小説・騎馬民族征服説』(講談社文庫)、『タイムスリップ大戦争』(角川文庫)、『崇峻天皇暗殺事件』(講談社)などのSF小説や、『宇宙戦艦ヤマト』の真実』(祥伝社新書)などのノンフィクション多数。最近著に『統一朝鮮が日本に襲いかかる』(祥伝社新書)、『日本SF誕生——空想と科学の作家たち』(勉誠出版)。

書名

日本アニメ誕生

豊田有恒 [著]

本体 1,800円(+税)

四六判並製カバー装・カラー口絵8頁+本文232頁
2020年8月刊行
ISBN978-4-585-27056-0 C0076

部数

部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025